平成25年度

伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟総合体育大会 柔道大会 要項

1 主 催 伊勢崎市佐波郡教育委員会連絡協議会

伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟

2 主 管 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 柔道部

3 大会期日 平成25年7月20日(土) 7時00分

7 時 5 0 分 集合·計量 8 時 3 0 分 審判会議 8 時 4 5 分 開会式 9 時 0 0 分 試合開始

開場

4 会 場 伊勢崎市境武道館 0270-74-3905 スポーツ振興課 0270-74-1113

5 審判規定 国際柔道連盟試合審判規定及び少年大会申し合わせ事項による。ただし、佐波伊勢 崎中体連申し合わせ事項を優先する。団体戦の判定基準は、「有効」又は「指導 2」以上とする。代表戦及び個人戦は必ず勝敗を決する。

- 6 選 手 (1)男子団体戦は、各学校単位編成とし、監督1名、選手5名、補員2名とする。
 - (2)女子団体戦は、各学校単位編成とし、監督1名、選手3名、補員1名とする。
 - (3)選手の編成は、体重の最も多い者を大将とし、以下順次体重順に編成するものとする。なお、補員を入れるときは、順次編成替えをする。
 - (4)男子団体戦で、選手が5名に満たない場合には、大将より順に編成し間に欠員 を置かない。また、女子団体戦については、選手が3名に満たない場合には、 先鋒を空けるものとする。
 - (5)団体戦において補員の充当により抜けた選手も、個人戦には出場できる。
 - (6)個人戦は、各体重別とする。

く男子> 5 0 Kg以下 く女子> 4 0 kg以下 5 Okg超 5 5 Kg以下 4 Okg超 4 4 Kg以下 ~ 5 5 Kg超 6 0 Kg以下 4 4 Kg超 4 8 Kg以下 6 O Kg超 ~ 6 6 Kg以下 4 8 Kg超 5 2 Kg以下 6 6 Kg超 ~ 5 ~ 5 7 Kg以下 7 3 Kg以下 2 Kg超 6 3 Kg以下 3 Kg超 ~ 8 1 Kg以下 7 Kg超 1 Kg超 9 0 Kg以下 8 6 3 Kg超 7 O Kg以下 9 OKg超 7 O Kg超

7 試合時間 《団体戦》予選リーグ2分 決勝トーナメント3分

《個人戦》準々決勝まで2分 準決勝・決勝3分

8 試合方法 《団体戦》

(1)男子は5校リーグの3校勝ち上がりによるトーナメント戦を行う。女子は4校、3校リーグの2校勝ち上がりによるトーナメント戦を行う。

(2)リーグ戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

ア:チーム間の勝ち数による。

イ:アにおいて同等のときは、勝ち点の合計による。

ウ:イにおいて同等のときは、引き分けとする。

(3)リーグ戦の順位は、次の順によって決定する。

ア:チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

イ:アにおいて同等のときは、勝ち点の合計による。

ウ:イにおいて合計点が同等のときは、勝ち点の内容により決定する。

エ:ウにおいて同等のときは、代表戦により決定する。

(4)トーナメント戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

ア:チーム間の勝ち数による。

イ:アにおいて同等のときは、勝ち点の合計による。

ウ:イにおいて同等のときは、代表戦により決定する。

《個人戦》

(1)各階級でトーナメント戦を行う。

- 彰 団体戦の優勝校には、優勝旗及び賞状を授与し、第2位校には準優勝杯及び賞状を 9 表 授与し、第3位校には賞状を授与する。個人戦は、各階級ごとに別途定める。
- 10 代表資格 団体戦》本大会では、優勝校が代表資格を持ち、県大会に進出する。 《女子 団体戦》本大会では、シード校(玉村中、玉村南)を除いた上位第1位、 第2位、第3位が代表資格を持ち、県大会に進出する。

《男子・女子 個人戦》個人戦においては、各階級の優勝者が代表資格を持ち、県 大会に進出する。なお、各階級の県大会シード選手を擁する階級については、シー ド選手を除いた上位第1位が代表資格を持ち、県大会に進出する。補欠者は、シー ド選手を除いた上位第2位とする。男子の各階級の選手登録が16名につき、代表 資格者が1名増える。女子は各階級の選手登録が8名につき、代表資格者が1名増 える。また、県大会シード選手が本大会のその階級の計量を通過できなかった場合 は、県大会への出場資格を失うものとする。

11 佐波伊勢崎中体連申合せ事項

《団体戦》

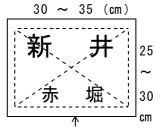
- (1)男子予選リーグの順位を決定する代表戦の試合時間は2分とし、得点差がない ときは延長戦(ゴールデンスコア)2分により勝敗を決する。なおも得点差がな いときは旗判定を行い、必ず勝敗を決定する。
- (2)決勝トーナメントにおける代表戦の試合時間は3分とし、得点差がないときは 延長戦(ゴールデンスコア)2分により勝敗を決する。なおも得点差がないとき は旗判定を行い、必ず勝敗を決定する。

《個人戦》

- (1)得点差がないときは旗判定を行い、必ず勝敗を決する。ただし、準決勝、決勝、 3 位決定戦では得点差がないときは延長戦(ゴールデンスコア) 2 分により勝敗 を決する。なおも得点差がないときは旗判定を行い、必ず勝敗を決定する。
- (1)選手は規定のゼッケンをつける。ゼッケンのない者は、出場できない。なお襟 12 その他 から5~10cm下に下記のように付ける。
 - (2)相手を威圧するような行為(染髪・眉剃り等)をしている生徒は、出場できない。
 - (3)脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
 - ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出 場の許可を得ること。
 - ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可 とする。(なお、至急、専門医[脳神経外科]の精査を受けること。)
 - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告 書を提出すること。
 - (4)試合時の帯の色は、若番(対戦表の上または左)を赤とし、古番(下または 右)を白とする。
 - (5)試合当日、「団体戦参加申込書」とともに、団体戦の対戦用に下のメンバー表 (模造紙1/4)を男子は2部、女子は1部を受付へ提出する。

学 先 次 中 副 大 校 名 補員 (模造紙1/4)

(メンバー表)



(ゼッケン)

- 男子は黒、 女子は赤文字
- 対角線にも強い白い糸で縫いつける。 指がどこにも入ったり、ひっかかった りしないように縫う。